



第二ぎんなん便り

熊本市手をつなぐ育成会
第二ぎんなん作業所
令和5年7月25日
第446号

「七夕」短冊に願いを



今年もみんなで短冊に願いを書き、七夕飾りにつりました。健康のこと、趣味のこと、友達のことなど、自分の関心事に対して、それぞれ願いを書きました。日頃、なかなか自分の気持ちを表現することが苦手な方も多いですが、それぞれの気持ちや個性が伝わってくるような七夕飾りになりました。

第二ぎんなん作業所には、主に知的障がいの人たちが利用して来られています。知的障がいの人たちの特性として、主に自分の気持ちを伝えることがとても苦手、周りの人からも理解されにくいという面があります。さらには、「何もわからない、何もできない、意思はない」と周りに誤解されることまであります。

このような知的障がいの人たちへの支援の一つとして「意思決定支援」というのがあります。「意思決定支援」は、今日の障がい福祉における、最重要キーワードの一つとなっています。作業所でも、本人の意思確認ができるよう、あらゆる工夫を行い、本人が安心し自信をもって自由に意思表示できるよう支援していきたいと考えております。（守尾）

意思決定支援とは、自ら意思を決定することに困難を抱える障がい者が、**日常生活や社会生活に関して自らの意思が反映された生活を送ることができるように、可能な限り本人が自ら意思決定できるよう支援し、本人の意思の確認や意思及び選好を推定し、支援を尽くしても本人の意思及び選好の推定が困難な場合には、最後の手段として本人の最善の利益を検討するために事業者の職員が行う支援の行為及び仕組み**をいう。
(厚生労働省ホームページより)

大雨が続く中で（農耕作業）

今年梅雨前線が活発で、日本の至る所で災害が起こっています。第二ぎんなん作業所の前の用水路は水門の小まめな調整のおかげで水があふれることを心配することはありませんでした。

ただ、農耕の方は、大雨のため作業ができないという日が何度かありました。また、ぬかるんだ土のため畝がたてられない等、作業が予定通りに進められないこともありました。

大雨の後は猛暑が続いています。こうした中で植物の管理は難しいものです。それでも利用者さんと職員の努力もあり、畑の野菜たちはすくすくと成長を続けています。



寒冷紗の設置（作業場）

今年猛暑の日が続きます。夏場の作業場の暑さを和らげるために、先日、上部の壁に大型の換気扇を付けました。そして今回は寒冷紗の取り付け工事をしています。作業棟は南西側に向いており日差しが強いので寒冷紗でそれを防ぐというわけです。費用はこれまで頂いている寄付金を利用させていただきます。家族会の玉城さんに何回も来ていただき工事の指導をしていただいています。



利用者、募集中！体験もできます

関心がある方はご連絡ください

第二ぎんなん作業所 096-371-9381